

日本史概説Ⅱ（教職）

科目ナンバリング ESS-102
選択 2単位

浜井 和史

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、日本史全般に関して、最新の研究成果に基づき、時代ごとの特質を明らかにしながら通史的に概説する。特に、時の権力者たちがいかにして統治体制を構築し、民衆を支配していったのかという政治史的展開を中心に解説する。秋期は、織豊期から戦後までの時期を取り扱う。

2. 授業の到達目標

- ・織豊期から戦後までの基礎的な知識を習得する。
- ・織豊期から戦後までの大まかな流れと各時代の特徴について理解し、説明できる。
- ・高校までの教科書的理解を越えて、通説に対して自分の考えをまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末レポート課題(50%)と授業内の小課題(40%)、平常点(10%)で評価する。レポート課題は、授業内容をよく理解して書けているかが評価基準の重要なポイントとなる。ネットからの剽窃やコピー等は不正行為とみなして然るべき処置をとる。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に教科書は指定しない。関連文献を適宜授業内で紹介する。

参考文献

木村茂光他編 『大学でまなぶ日本の歴史』(2016年) 吉川弘文館

佐藤信他編 『大学の日本史』全4巻(2016年) 山川出版社

5. 準備学修の内容

歴史は暗記科目ではないが、授業で扱う程度の知識を習得することが大学レベルの歴史的思考力を養ううえで求められる最低限の要件である。したがってノートやレジユメの見直しなどの復習により知識を定着させる努力を怠らないこと。そのうえで、授業で扱わない社会的・文化的事項などについても参考書などを読んで自ら積極的に知識を補うこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・普段から日本史関係のテレビ番組や新聞・雑誌記事等に目を通すよう心がけること。
- ・「日本史概説Ⅱ」と「日本史概説Ⅰ」は内容的に連続しているので、あわせて履修することが望ましい。
- ・対面授業中の私語や携帯・スマホの使用は厳に謹むこと。行為によっては退出を命じることや、以後の受講を認めない場合がある。
- ・オンライン授業の実施については変更もありうるので、指示をしっかりと確認すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスと前期の復習／雑兵たちの戦場
- 【第2回】 豊臣政権から徳川政権へ
- 【第3回】 御威光の体系と預治思想
- 【第4回】 武断政治から文治政治へ
- 【第5回】 江戸時代の諸改革
- 【第6回】 御威光の体系の動揺
- 【第7回】 幕末の動乱
- 【第8回】 近代国家の建設
- 【第9回】 明治立憲体制の成立
- 【第10回】 帝国版図の拡張
- 【第11回】 大正デモクラシーの時代
- 【第12回】 「憲政の常道」と軍部の台頭
- 【第13回】 満洲事変と国際的孤立
- 【第14回】 日中戦争から太平洋戦争へ
- 【第15回】 「吉田ドクトリン」と日本の戦後